

[演題10]

入学試験成績と国家試験成績との関連 ～2013, 14年理学療法学専攻卒業生のデータより～

村尾 浩

神戸学院大学総合リハビリテーション学部 理学療法学専攻

1. はじめに

神戸学院大学総合リハビリテーション（以下、リハ）学部は、人生の再構築に寄与しうる人材を幅広く受け入れ、4年間で国家資格の取得をめざしている。理学療法士の資格取得を目標とする理学療法学専攻へ入学するには、公募制推薦入試、一般入試、大学入試センター試験利用入試（以下、センター試験入試）、神戸学院大学附属高校特別入試（以下、特別入試）の4区分の試験のうちのいずれかに合格する必要がある。受験生は入学しやすい試験制度を選択する傾向があり、理学療法士国家試験受験資格を付与する側（すなわち理学療法学専攻）としては国家試験に合格しうる学生の入学を望んでいる。理学療法学専攻では、どの入学試験制度を利用したら国家試験に合格しやすいかや、入学試験での高得点獲得が国家試験成績に関連するかなどの入学試験成績と国家試験成績との関連は不明点が多かった。今回、理学療法学専攻卒業生の入学試験成績と国家試験成績の関連を調査する機会を得たので若干の文献的考察を加え報告する。なお、この研究は神戸学院大学ヒトを対象とする研究等倫理委員会から承認を受けている（承認番号 HEB110608-3）。

2. 対象と方法

2009-2010年に神戸学院大学総合リハ学部医療リハ学科理学療法学専攻に入学した82名のうち、

国家試験成績の調査が可能であった男性29名、女性28名を対象とした。

対象者の内訳は、特別入試制度利用者9名、公募制推薦入試制度利用者16名、一般入試制度利用者28名、センター試験入試制度利用者4名であった。

方法は神戸学院大学入学事務室に依頼して入学試験成績（入試成績は公募制推薦制度利用者と一般入試制度利用者が追跡可能）を入手し、入学試験4区分別の国家試験点数、入学試験点数と国家試験点数の相関関係、入学試験区分別の1限目～3限目の試験点数、2限目科目の選択状況、選択科目（理数or国語 および生物or国語）別国家試験点数、受験科目数別国家試験点数を調査し、統計学的に処理した。有意水準は5%未満とした。

なお、試験の難易度や配点、受験した科目が異なるので入学試験点数は偏差値（100点満点）を用い、科目数が異なる場合は偏差値の平均値を用いた。

3. 結果

入学試験4区分別の国家試験点数では4群間に有意差はなかった（表1）。入学試験点数（1～3限目科目の平均点）と国家試験点数に有意な相関関係はなかった。1限目科目（英語）、2限目科目、3限目科目の点数と国家試験点数に有意な相関関係はなかった。入学試験区分別の1限目から3限目の試験点数では1限目の英語で公募制推薦入試が有意に高得点であったが2限目科目に有

意差はなかった(表2)。2限目の選択科目状況では理数や生物が選択されていることが多かった(表3)。選択科目別の国家試験点数に有意差はなかった(表4)。

一般入試での受験科目数別国家試験点数は、2科目が 195.8 ± 14.4 点、3科目が $\pm 195.8 \pm 14.4$ 点で2群間に有意差はなかった。

4. 考察

一般入試と推薦入試での入学者の国家試験成績に違いがあるとの報告があるが[1][2]、今回の調査では違いはなかった。入学試験形態や志願

者層には大学特性があり一般化できるものではないと考える。

国家試験合格者に限った結果であるが、特別入試、公募制推薦入試、一般入試、センター試験入試のどの制度を利用して入学しても国家試験成績との関連はなかった。

- [1] 本岡直子, 岩谷和夫, 佐藤学ら: 広島県立保健福祉短期大学に「おける入試方法・成績, 学内成績, 国家試験合格の関係. 広島県立保健福祉大学誌 2003; 3(1): 95-104
- [2] 坂本亜理砂, 三宅わか子, 村上忠ら: 入試形態の違いが学業成績に及ぼす影響について. リハビリテーション教育研究 2004; 9: 68-69

表1 入試区分別国家試験点数

	特別入試	公募制推薦入試	一般入試	センター利用入試	p 値
国家試験点数	$196.0 \pm 17.5(n=9)$	$202.6 \pm 16.2(n=16)$	$196.9 \pm 13.9(n=28)$	$200.3 \pm 10.6(n=4)$	$p=0.65$

表2 入学試験点数と国家試験点数の相関関係および入試区分別入学試験点数

	対象全	国家試験点数との相関関係	特別入試	公募制推薦入試	一般入試	センター利用入試	p 値
1限目科目平均点	59.0 ± 5.9	$r=0.04, P=0.81$	/	$62.4 \pm 4.1(n=16)$	$57.0 \pm 6.0(n=28)$	/	$p<0.01$
2限目科目平均点	57.0 ± 6.5	$r=-0.06, P=0.69$	/	$55.4 \pm 7.6(n=16)$	$57.8 \pm 5.7(n=28)$	/	$p=0.53$
3限目科目平均点	57.5 ± 4.8	$r=0.09, P=0.79$	/	/	$57.5 \pm 4.8(n=11)$	/	/
1^3限目科目の平均点	58.0 ± 3.4	$r=-0.005, P=0.97$	/	$58.9 \pm 4.3(n=16)$	$57.5 \pm 2.9(n=28)$	/	$p=0.26$

表3 2限目科目の選択状況

	特別入試	公募制推薦入試	一般入試	センター利用入試
2限目選択科目(理数、国語)	/	理数 14 国語 2	理数 20 国語 8	/
2限目選択科目(物理、化学、生物、国語)	/	/	物理 2, 化学 3, 生物 15, 国語 8	/

表4 選択科目別国家試験点数

	理数	国語	p 値
国家試験点数(公募制推薦入試と一般入試)	198.0 ± 15.4	201.9 ± 13.5	0.47
	生物	国語	
国家試験点数(一般入試のみ)	196.4 ± 13.6	203.4 ± 14.9	0.36